

栃木を元気に！

ふるさと活力応援隊だより Vol.8



～ ふるさと活力応援隊の活動 ～

人口流出や高齢化が進む中、農山村地域では、地域の維持や活性化に必要な人材が不足し、その結果、耕作放棄地や鳥獣被害の増加、集落機能の低下などの課題が深刻化してきています。ふるさと活力応援隊員は、県職員として現役時代に培ったノウハウを生かして、地域を元気にするための様々な“ふるさと活動”に取り組んでいます。

隊員数：98名（令和7年3月現在）

〈ふるさと活動の例〉

集落営農の推進、鳥獣被害防止対策、地域保全、直売所・農村レストランの運営、食育活動 など

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

1 和田 浩幸 隊員（河内地域）

令和2年4月～
令和7年3月（継続中）

海道イチゴ団地の創設

海道町では、60歳未満の若い担い手が皆無!! 風前の灯火の町農業。

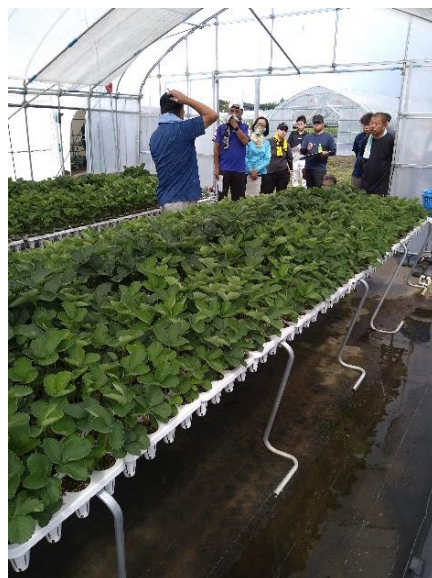
そこで、農地整備事業を契機として、令和2年度に約8haのイチゴ団地を創設し、町内外から若い担い手を募集しました。

現在、貸出し予定14区画（1区画約50a）のうち、9区画で経営スタート、残り5区画は既に内定済みという成果が得られました。

近い将来、町農業がイチゴで再興することを期待しています。



宇都宮市海道町の海道イチゴ団地の様子



ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

2 島田 研 隊員（下都賀地域）

令和5年2月1日～28日

調整池の保全管理

栃木市土地改良区宿前委員会区域内には、集中豪雨時に一時的にため池となる調整池があり、池内外の雑草の刈り払い等の保全管理が課題となっています。

宿前みどりの会では、調整池の雑草の刈り払いを毎年7月に、雑草の野焼を3月に会員全員が参加して実施しています。

ゲリラ豪雨の増加により調整池の保全維持が益々重要になってきており、これからも会員の若返りを進めながら取り組んでいきます。



調整池の刈り払いの様子

生きもの観察会

宿前みどりの会では、毎年8月に、栃木市土地改良区宿前委員会区域内の水田水路において、小学生とその保護者を対象に生きもの観察会を実施しています。

令和4年は、8月19日（日）にNPO法人県環境カウンセラー協会から講師を招き実施したところ、9家族36名の参加がありました。子どもたちも水路中に入り、魚類をすくい上げ名前を確認するなど有意義な観察会となりました。



生きもの観察会の様子

ふるさと活力応援隊員の活躍について紹介

3 小林 俊夫 隊員（塩谷南那須地域）

令和6年4月、7月、10月
令和7年1月

季刊誌「しもつけの心」で地域の農業の姿を発信

栃木県の農業のあるべき姿、家族経営を大切にしたいと、「小さくても強い豊かな家族経営」と題し、県下の農業・農村の姿を取材し、(株)井上印刷発行季刊誌に5年前から投稿し、県民に情報発信してきました。

令和6年度は4回目となり、情報発信総回数は1月冬季号で23回となりました。今後も取材を続け、情報発信を行っていきます。

【令和6年度の投稿内容】

- ・4月 「米の未来の姿を広げる」
- ・7月 「家族が農をつなぐ「ナリワイ」の姿」
- ・10月 「黒毛和牛は那須山麓の農家農村を救えるか」
- ・1月 「那須山麓でワインづくりの夢への挑戦」



季刊誌「しもつけの心」の紙面の一部

4 磯 文夫 隊員（安足地域）

令和5年4月～令和6年3月

環境保全に向けた除草作業や鳥獣害対策

足利市内において、地域の住民や農業のため環境保全に向けた以下の取組を行っています。

- ・児童の通学路の安全確保に向けた、除草作業等の実施
- ・渡良瀬川における野鳥対策
- ・住宅街に出現するタヌキやモグラ対策
- ・学生の学習向上に向け、栃木県石灰工業協同組合及び栃木県砕石工業協同組合等の協力のもと、フズリナの化石を採取し、市内小学校への寄付

令和6(2024)年度の農政トピック

～ 令和7年産とちあいかの作付面積が初めて8割を超える～ ～「大切な人にいちごを贈ろう運動」で県産いちごの魅力を発信～

令和4年に策定した「いちご王国・栃木」戦略に基づき、「とちあいか」の主力品種への大転換等を進めてきた結果、令和7年産とちあいかの作付面積(JAグループ分)は8割を超えました(全農とちぎ調べ)。

また、県民のいちご愛を育むとともに、県内外の消費者に県産いちごの美味しさを知ってもらうため、“大切な人にいちごを贈ろう運動”キャンペーンを実施し、全国47都道府県に本県のいちごを届けました。

今後も、切り替えが進むとちあいかの品質向上等に取り組むとともに、多くの方に県産いちごの魅力を届けていきます。



キャンペーンの啓発ポスター

～ 農村地域におけるインバウンドの受入れ推進に向けた キックオフ・シンポジウムを開催～

県域でインバウンド受入れに取り組む機運を醸成するため、今回のシンポジウムでは「農村地域におけるインバウンドの受入れの推進」をテーマに、インバウンドをめぐる最新情勢や県内のトップランナーの受入事例を共有するとともに、県から新たに策定した「とちぎの農村地域グローバルビジネス推進方針」を報告しました。

参加者からは「今後のインバウンドの受入れに向けて参考となる内容だった」といった声が聞かれ、県内農村地域へのインバウンドの受入れ推進につながるシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子

～ 県産牛肉の消費拡大運動「も～っと Meat とちぎ」を展開～

県産牛肉の消費拡大を図るため、県民に牛肉の消費を呼びかける運動を「も～っと Meat とちぎ」と称し、年間を通じて新たに消費拡大に取り組むこととしました。

毎月3日から10日を、重点推進期間「もっとミートウィーク」に設定し、期間中の集中的な消費を促すとともに、取組の実施にあたっては、SNS等を活用し、効果的に情報発信していきます。



消費拡大運動における取組の例
「とちぎ和牛」Wプレゼントキャンペーン

～農村ボランティアマッチングサイト「TUNAGU」～ 是非会員登録の上、地域を元気にする活動に御参加ください！

TUNAGUは、とちぎの「農村」と地域貢献に興味がある「人」の「ご縁」をつなぎ、とちぎの中山間地域の活性化を目指すサイトです。

TUNAGUの趣旨に御賛同いただける方の会員登録・活動参加をお待ちしています。



TUNAGU
トップページ

○TUNAGUでできること

- クエストで農村に関わる
里山保全や遊休農地の再生などのミッション「クエスト」の参加申込ができます。
- イベントで農村を楽しむ
交流会や収穫祭など農村とみんなをつなぐ楽しいイベント情報を紹介しています。
- レポートを読んで農村を知る
地域の活動報告や若者目線で地域の魅力を伝えるレポートなどを掲載しています。
- 動画を見て農村を知る
活動の雰囲気や参加者の生の声などをまとめた動画を公開しています。
- 特派員になってスキルを活かす
自らのスキルを活かして地域で活動いただけるTUNAGU特派員を募集しています。



また、TUNAGUを活用いただける地域団体も募集しています。御自身が取り組んでいる農村地域での活動の参加者募集や情報発信などに是非御活用ください。

※TUNAGUの利用には条件があります。詳細は農村振興課（028-623-2334）までお問合せください。

ふるさと活力応援隊事業の詳細については、下記の窓口にお問合わせください。

お住いの地域	お問い合わせ先	
宇都宮市、上三川町	河内農業振興事務所企画振興部	TEL 028-626-3061
鹿沼市、日光市	上都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0289-62-5236
真岡市、益子町、茂木町 市貝町、芳賀町	芳賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0285-82-4720
栃木市、小山市、下野市 壬生町、野木町	下都賀農業振興事務所企画振興部	TEL 0282-23-3425
矢板市、さくら市、那須烏山市 塩谷町、高根沢町、那珂川町	塩谷南那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-43-1252
大田原市、那須塩原市 那須町	那須農業振興事務所企画振興部	TEL 0287-23-2151
足利市、佐野市	安足農業振興事務所企画振興部	TEL 0283-23-1455
事業全般	栃木県農政部農政課企画調整担当	TEL 028-623-2272